

平成21年人口動態統計（確定数） 石川県分の概況

「平成21年人口動態統計（確定数）の概況」厚生労働省大臣官房統計情報部集計・9月2日公表～厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei09/index.html>）～による石川県関係分は、前年に比べ死亡数は増加し、出生数、死産数、婚姻件数、離婚件数は減少した。

〔出生〕

- ・ 出生数は、平成元年から平成13年までは、毎年1万1千人台で推移していたが、平成14年から1万1千人を切っている。
平成21年の出生数は9,849人で、平成20年の10,199人より350人減少した。
- ・ 平成21年の出生率(人口千対)は8.5で、平成20年の8.8より0.3減少した。
なお、全国平均は8.5で、本県と同じ数値である。
- ・ 平成21年の合計特殊出生率は1.40で、平成20年の1.41を下回った。
なお、全国平均は1.37で、本県はそれよりも高い。

〔死亡〕

- ・ 死亡数は、平成9年から平成14年までは、毎年9千人台で推移していたが、平成17年から1万人を超えている。
平成21年の死亡数は11,246人で、平成20年の11,012人より234人増加した。
- ・ 平成21年の死亡率(人口千対)は9.7で、平成20年の9.5より0.2増加した。
なお、全国平均は9.1で、本県はそれよりも高い。
- ・ 死亡原因の順位は、第1位 悪性新生物 3,388人(人口10万対293.1)、第2位 心疾患 1,752人(人口10万対151.6)、第3位 脳血管疾患 1,205人(人口10万対104.2)であった。

- ・ 平成21年の乳児死亡数は19人で、平成20年の25人より6人減少し、平成21年の乳児死亡率(出生千対)は1.9で、平成20年の2.5を下回った。
なお、乳児死亡率の全国平均は2.4で、本県はそれよりも低い。
- ・ 平成21年の周産期死亡数は38人で、平成20年の62人より24人減少し、平成21年の周産期死亡率(出産千対)は3.8で、平成20年の6.1を下回った。
なお、周産期死亡率の全国平均は4.2で、本県はそれよりも低い。

(自然増加)

- ・ 出生と死亡の差である自然増加数は△1,396人で、平成20年の△813人より583人減少した。
また、自然増加率(人口千対)は△1.2で、平成20年の△0.7を下回った。
なお、自然増加率の全国平均は△0.6で、本県はそれを下回った。

[死 産]

- ・ 死産数は、平成15年以降、減少しているところであるが、平成21年の死産数は207胎で、平成20年の232胎より25胎減少した。
平成21年の死産率(出生+死産 千対)は20.6で、平成20年の22.2を下回った。
なお、死産率の全国平均は24.6で、本県はそれよりも低い。

[婚 姻]

- ・ 平成21年の婚姻件数は5,887組で、平成20年の6,141組より254組減少した。
平成21年の婚姻率(人口千対)は5.1で、平成20年の5.3を下回った。
なお、婚姻率の全国平均は5.6で、本県はそれよりも低い。

[離 婚]

- ・ 離婚件数は、平成10年以降、毎年2千組前後で推移しているところであるが、平成21年の離婚件数は1,863組で、平成20年の1,900組より37組減少し、平成21年の離婚率(人口千対)は1.61で、平成20年の1.64を下回った。
なお、離婚率の全国平均は2.01で、本県はそれよりも低い。

主な用語の定義

自然増加：出生数から死亡数を減じたもの

合計特殊出生率：15歳～49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子供数に相当する。

乳児死亡：生後1年未満の死亡

新生児死亡：生後4週未満の死亡

早期新生児死亡：生後1週未満の死亡

死産：妊娠満12週以後の死児の出産

周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの

人口動態総覧（石川県分）

	実 数		率		平均発生間隔	
	平成 21年	平成 20年	平成 21年	平成 20年	平成 21年	平成 20年
出 生	9,849	10,199	8.5	8.8	時 分 秒 53: 22	時 分 秒 51: 32
合計特殊出生率	—	—	1.40	1.41	・ ・ ・	・ ・ ・
死 亡	11,246	11,012	9.7	9.5	46: 44	47: 44
乳児死亡	19	25	1.9	2.5	461: 03: 09	350: 23: 60
新生児死亡	8	20	0.8	2.0	1095: 00: 00	438: 00: 00
自然増加	△ 1,397	△ 813	△ 1.2	△ 0.7	・ ・ ・	・ ・ ・
死 産	207	232	20.6	22.2	42: 19: 08	37: 45: 31
自然死産	124	145	12.3	13.9	70: 38: 43	60: 24: 50
人工死産	83	87	8.3	8.3	105: 32: 32	100: 41: 23
周産期死亡	38	62	3.8	6.1	230: 31: 35	141: 17: 25
妊娠満22週以後 の死産	34	45	3.4	4.4	257: 38: 49	194: 39: 60
早期新生児死亡	4	17	0.4	1.7	2190: 00: 00	515: 17: 39
婚 姻	5,887	6,141	5.1	5.3	1: 29: 17	1: 25: 35
離 婚	1,863	1,900	1.61	1.64	4: 42: 08	4: 36: 38

(注) 1 平成21年、平成20年いずれも確定数である。

2 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産(出生+死産)千対であり、周産期死亡・妊娠満22週以後の死産率は出産(出生+妊娠満22週以後の死産)千対である。

主要死因別 死因順位・死亡数（人）・死亡率（人口10万対）・全死亡数に占める割合（％）

全 国					石 川 県									
平成21年					平成21年					（参考：平成20年）				
順位	区 分	死亡数	死亡率	割合	順位	区 分	死亡数	死亡率	割合	順位	区 分	死亡数	死亡率	割合
				％					％					％
1	悪性新生物	344,105	273.5	30.1	1	悪性新生物	3,391	293.3	30.2	1	悪性新生物	3,288	283.9	29.9
2	心疾患	180,745	143.7	15.8	2	心疾患	1,752	151.6	15.6	2	心疾患	1,763	152.2	16.0
3	脳血管疾患	122,350	97.2	10.7	3	脳血管疾患	1,206	104.3	10.7	3	脳血管疾患	1,238	106.9	11.2
4	肺炎	112,004	89.0	9.8	4	肺炎	1,132	97.9	10.1	4	肺炎	1,154	99.7	10.5
6	不慮の事故	37,756	30.0	3.3	5	老 衰	436	37.7	3.9	5	不慮の事故	464	40.1	4.2
5	老 衰	38,670	30.7	3.4	6	不慮の事故	416	36.0	3.7	6	老 衰	325	28.1	3.0
7	自殺	30,707	24.4	2.7	7	自殺	254	22.0	2.3	7	自殺	239	20.6	2.2
8	腎不全	22,743	18.1	2.0	8	腎不全	213	18.4	1.9	8	腎不全	204	17.6	1.9
9	肝疾患	15,969	12.7	1.4	9	慢性閉塞性肺疾患	148	12.8	1.3	9	慢性閉塞性肺疾患	146	12.6	1.3
10	慢性閉塞性肺疾患	15,359	12.2	1.3	10	大動脈瘤及び解離	145	12.5	1.3	10	糖尿病	136	11.7	1.2

（注）平成21年、平成20年とも確定数である。